

■ 鉄鋼関連事業

■ 電力卸供給事業

■ アルミ・銅関連事業

■ 機械関連事業

■ 建設機械関連事業

■ 不動産関連事業

■ 電子材料・その他の事業

2007 [平成19年]

4月 ■ 当社株券等の大規模買付行為に関する対応方針(買収防衛策)の改定

■ 「超高強度鋼板を適用した車体軽量化技術論文」が2006年シドニー H.メルボルン賞を受賞

5月

アルミ・銅関連事業

伸銅用で世界最高速度の新冷間圧延機が稼働

長府製造所では、銅板条の生産能力を2008年度に2割増強する計画で、相次いで設備投資を行なっています。4月には鑄造用コアレス炉1基の更新と脱脂洗浄ラインの新設。5月には製造スピード毎分1,000mという伸銅用では世界最高速度の20段冷間圧延機が稼働しました。今後新めっきライン、連続焼鈍ラインも導入します。これらによりオリジナル合金の生産量をアップし、「オンリーワン製品」の供給に製造能力をシフトしていきます。



新冷間圧延機

鉄鋼関連事業

加古川製鉄所第2高炉の再稼働

2005年より2年間にわたる改修工事を完了し、11年ぶりに世界有数の大型高炉として生まれ変わって再稼働しました。新しくなった第2高炉は、世界で7番目、国内でも5番目の炉容積を持つものです。微粉炭など低コストの原料使用をさらに進め、コストダウンとともに安定操業を図ることで世界的な競争力の強化を目指します。



第2高炉

6月

機械関連事業

世界初のスクリュ式小型蒸気発電機を開発

近年の産業界の省エネルギー要求に応えるため、中規模の製造工場に使われている小型ボイラによる少流量蒸気量と減圧比でもエネルギーを有効活用し、効率よく発電を行なうことができる高性能のスクリュ式小型蒸気発電機「M.S.E.G.(マイクロ・スチーム・エネジー・ジェネレーター)」を世界で初めて開発しました。蒸気のスペシャリストカンパニーである株式会社テイエルブイと当社の得意とするスクリュ技術を応用し、共同で開発したこの発電機は、電力費用を削減すると共に、CO₂排出量の削減に寄与することができます。



スクリュ式発電機

7月 ■ ベネズエラ ミノルカ還元鉄プラントの引渡し完了

■ 米国子会社のミドレックス社がエジプトから直接還元鉄プラントを受注